

大船渡だより

発行人 諏訪榮治郎
編集 スタッフ一同



ベース長：エドガル ガクタン (Edgar Gacutan)

2014年1月20日からベース長となりました。私は淳心会司祭で、フィリピン出身です。東日本大震災後、私の修道会は、外国人被災者ケアのために司祭を派遣するにあたり、下準備としてハルノコー神父（ベース長前任者）とギャリー神父と一緒に被災地を視察し、「支援」についての会議に参加しました。両神父は2011年秋、大船渡に根を下ろし、ニーズに答えて色々な形で教会と社会に奉仕して来ました。私も来る4月1日から宣教司牧に携わりながら大船渡ベースに於いて、ベース長としての役割を担わせて頂きたいと思っております。よろしくお祈りします。



事務局長：深堀 崇

2012年1月14日から大船渡ベースのスタッフとなりました。今では、スタッフの中で一番長く活動をさせて頂いています。ベースの事務や広報、地域のニーズ調査などを担っています。もちろんボランティアの受入れも担当しています。大船渡の仮設住宅がなくなり、復興のめどがたつまで活動できたらと思っています。今の被災地は、復興とは程遠いと思います。まだまだこれからです。問題も多様化して、一人一人への寄り添い方をしっかり考えていく時期になっています。宜しくお願いします。



スタッフ：Sr. 吉村 宣子

2012年9月から、ボランティアとして大船渡と東京を行き来しているうちに皆さんが身内のように親しく思える様になり、2013年の4月からはスタッフとして勤めさせて頂いています。仕事としては、物の管理や整理、ベースでのイベント、お茶っこ、ご近所との関わり等々、出来ることを、年齢相応にさせて頂いています。一人ひとりとの温かな交わりが、何よりの心の復興に繋がると思っています。宜しくお願いします。



スタッフ：菅原 圭一

大船渡教会の信徒です。ベースのスタッフになってもうすぐ2年が経ちます。会社勤めを辞め、夢だった家庭教師の仕事をした3か月後に震災が発生しました。幸いに私自身は被災しませんが、ふるさとが、親戚が、友人知人が大きな被害に見舞われました。スタッフとして主に在宅被災者の方々の支援を担当しています。地元の者として、ベースと地元とのパイプ役となり、被災した方々にずっと寄り添っていきたくと思っています。



スタッフ：小長谷 敏生

昨年1月に初めて奈良県よりボランティアとしてカリタス大船渡ベースへ来ました。大船渡の人達にふれあう程に大船渡が大好きになり、毎月訪れるようになりました。そして、縁が有り、10月からスタッフとなりました。ベースではおもに全国から来て頂いたボランティアの皆さんと一緒に活動に出かけています。今の被災地の状況を一人でも多くの人に知っていただくのも私の大きな役割だと思っています。



スタッフ：斉藤 成実

はじめまして。今年の2月から広報等のデザイン補助を担当させて頂くことになりました。大船渡のこれから、そしてベースの活動を分かりやすくお伝えしていけるよう頑張ります。宜しくお願いします。去年の9月に1ターンをしたのですが、地元の温かさとボランティア等に来て下さっている人達の優しさに触れ、私も少しでも復興の力になればと考えるようになりました。大船渡が今以上に元気な町になりますように！

カリタス大船渡ベース スタッフ紹介(H26/03/01現在)▲

ごあいさつ

お久しぶりです。発行が滞ってしまい、すみませんでした。新しいスタッフも入り心機一転支援活動に邁進していきます。少しずつですが、ベースの活動や大船渡のことを知って頂ければと思います。宜しくお願いします。

祝！ベース2周年

2012年1月14日に大船渡ベースは開所しました。

大船渡の地で長く被災された方に寄り添っていくために、自宅再建が可能な地である現在の土地にベースを建設しました。この地域の人々のコミュニケーションスペースになり、ボランティアが安心して活動へ向かう事のできる場所として建ち上げました。

ベースが開所してから2年、はじめは近隣の方との関係作りから始まりました。毎朝の挨拶など積極的に関わることにより少しずつベースのことを理解して頂けたように思います。はじめは、何か怪しいものが来たのではないかと疑いの目を向けられることもありましたが、2年経つとそれもなくなってきました。疑いの目が無くなってきたことの一歩の表れは、ベースを選挙の投票所として使用して頂いたことが大きいと思います。

ベースが開所して2周年になる2014年1月13日に地域の方をお招きしてお祝いをしました。3つのプログラムに分けて地域の方々に楽しんでいただけたよう準備しました。

1つ目のプログラムは、教会での開所2周年をお祝いしての御ミサです。大阪教区から松浦司教様を始め、松村神父様、春名神父様の3名の神父様方に来て頂き、教会の方と共に御ミサに参加することが出来ました。

2つ目のプログラムは、2年間の活動写真から37枚を選び、ベース内に飾り、今までの活動紹介を兼ねた写真展示会と軽食を準備して茶話会を行いました。地域全体に声をかけてベースに来て頂きました。仮設の集会所でのお茶会では出会えない人たちも来られて多くの人にベースの活動を知っていただける機会となりました。「こんなこともしてたんだけ〜」とベースの別の面での活動を知っていただくことが出来ました。また、瓦礫撤去や泥出しの写真を見て3.11直後のことを話して下さる方もいらっしゃいました。

3つ目のプログラムは、活動を通して連携している団体やお世話になっている個人をベースにお招きして、鍋パーティーを行いました。地区の代表の方や仮設商店街の人など今までお世話になっている方々に来て頂き感謝の気持ちをお伝えすることが出来ました。ベースと個々でつながっている方々が、会食を通して横のつながりも広げて頂くことが出来たと思います。

ベースが今後、3年・4年と続いていく中で、地域とのかかわりや地域にどれだけ受け入れられるかは大切なことだと思います。様々な活動を通して、より大きな信頼関係を築いていくことができればと思います。



大船渡のシンボルであるセメント会社の煙突

仮設の商店街

震災から
2年11ヶ月...

2014.2.18
大船渡市の元中心地の様子

1月・2月

開催イベント
その他

1月

- 6日：活動再開
- 13日：ベース開所2周年
- 20日：清水仮設 買物送迎開始
- 22日：全ベース会議
- 26日：名古屋教区 金沢教会にて活動報告会
(カトリック新聞第4229号 3面参照)
- 30日：仙台教区サポート会議@大船渡ベース
(カトリック新聞第4229号 1面参照)

2月

- 8日・9日：大寒波到来 20cmの雪が積もる
- 14日・15日：大寒波到来 15cmの雪が積もる
仮設住宅や独居宅へ雪かき支援
- 16日：バレンタインイベント

カリタス大船渡ベース 地ノ森いこいの家
電話・FAX：0192-47-4737 (9:00~18:00)
急用時：080-2440-5610

- 〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森43-2
- Eメール：ofunatobase@gmail.com
- ブログURL：http://ameblo.jp/ofunatobase/